

第13回北農研サイエンスカフェ「クラークの丘から」

オリンピックで選手は何を食べる？ 信頼される農場をめざして！

話し手 田口 光弘（農研機構 北海道農業研究センター）
春名 正義さん（農業生産法人 有限会社 興農社）

ファシリテーター 中村 博志（農研機構 北海道農業研究センター）

参加費無料
受付13:00～



2016年3月6日 (日) 13:30-14:30
イベントハウス スペースタイム

〒001-0010 札幌市北区北10条西4丁目-1 SCビル1階
TEL & FAX 011-716-1357 定員 30名

3月2日 (水) までに下記までお申し込みください。

農研機構 北海道農業研究センター

企画管理部情報広報課 TEL. 011-857-9260

メールアドレス: cryoforum@ml.affrc.go.jp



第13回北農研サイエンスカフェ「クラークの丘から」

皆さん、こんにちは。

東京オリンピック・パラリンピックが2020年に開催されますね。今回のサイエンスカフェでは、オリンピックの「選手村」などで使われる食べ物、特に食材となる農産物に注目したいと思います。

全世界から人々が集まるオリンピックでは、日本の「信頼できる農場」から農産物を集めて、オ・モ・テ・ナ・シしたいですね。皆さんにとっての「信頼できる農場」は、どのようなものですか。いま、農業の現場では、「信頼できる農場」の一つの形として、農産物の安全性はもちろんのこと、周囲の環境や、働く人たちにもやさしい農場を目指す取り組みが増えてきています。

今回は、「信頼される農場」作りについて、実際に取り組んでいる生産者さんのお話を交えながら紹介いたします。

どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

話し手のプロフィール

田口 光弘(たぐち・みつひろ)

農研機構 北海道農業研究センター 主任研究員

1976年栃木県生まれ 博士(農学)

2004年農研機構に採用

気分転換は、子どもとの外遊びと、日帰り温泉巡り。「いい農場」の取組を調べ、その取組内容を広く情報発信することで、日本農業の活性化に貢献できたらと思い農業経営研究を始めました。



春名 正義(はるな・まさよし)さん

農業生産法人(有)興農社 代表取締役

上富良野町の160haの農場で小麦や、かぼちゃなどを栽培。

2012年からは6次産業化にも取り組み、自社小麦を使ったパスタやラーメンなどを開発・販売しています。安全・安心への取組として、JGAP認証、エコファーマー認証などを取得しています。



北農研サイエンスカフェとは

北農研では、食に対して安全と安心を強く求めている市民の皆様のご要望に応えるため、研究者のアウトリーチ活動の一環としてサイエンスカフェを開催しています。内容は、作物育種、家畜管理、IT農業機械など多岐にわたっており、北農研の研究者が食と農のためにどのような取り組みを行っているのかを皆様と語り合う場です。飲み物片手に気軽にご参加いただけたらと思います。

参加者には、今回の話題に関係ある小麦製品を配付します。

お問い合わせ先

農研機構 北海道農業研究センター

企画管理部情報広報課

〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

TEL. 011-857-9260

メールアドレス: cryoforum@ml.affrc.go.jp

北海道農業研究センターウェブサイト

<http://www.naro.affrc.go.jp/harc/index.html>